

個性が光る手作りアトラクション！

文化新聞

6月号⑬

【発行・編集】
委員長 本道睦穂
副委員長 梨本あかり



二年六組と二年七組のクラス企画をインタビュ形式で取材しました。インタビュに答えてくれた方、撮影を快く承諾してくれたクラスの皆さん、準備中でお忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

二年六組

二年六組では、アメリカンデザイナーをイメージしたフォトスポットを企画している。この企画はアメリカンデザイナーをイメージした装飾を施した教室で自分で写真を撮ったり、二年六組の生徒が撮ってくれたり、カチューシャ、サンングラスを付けた撮影ができる場になっている。

すみれ祭のテーマのミラーージュが西洋なので、アメリカンデザイナーっぽいフォトスポットで写真を撮ってお客さんに思い出を残してほしいというおもいからこの企画をすることになった。呼気で風船をふくらませるのに抵抗があったので、ポリ袋で肺をつくった。買い出しやフォトスポットをつくるのが楽しかった。二年六組は「二の六で映え写真撮ってねー」とした。



二年七組

二年七組では中世フランスで起きたある邸宅の一家殺人事件の後、廃墟となった邸宅をモチーフにしたお化け屋敷です。

この企画になった理由は「お化け屋敷をやりたいくて、お化け屋敷と言ったら西洋というイメージがあったからだ。話し合いをして、後夜祭とのつながりもあるようにした。大変だったことは、去年のクラス企画ではブースごとくに作業をすすめていたので、全員でひとつに連携することだった。洋風のお化け屋敷にするために人形を置いたことが楽しかったそう。二年七組は「去年とは一味ちがった感じにしたので、それを楽しんでください！頑張ったのでぜひ来てください！」とした。



すみれ祭のみどころ

食堂では、六月二十八日〜二十九日にキッチンカーや部活のつくる食品を販売いたします。生徒や来校者の方、保護者の方々のおなかを満たすおいしいごはんやスイーツを提供します。

編集後記

七組は五回目のすみれ祭となり、六組は十一人と少ない人数の中で、完成まで最後の仕上げにかかっていました。工夫の詰まったクラス企画を多くの人に楽しんでほしいです。七組のお化け屋敷は本当の家みたくて怖そうでした。